

歴史ある首里高校へご入学おめでとう

震天動地

「震天動地」は、1918年当時の山口沢之助校長の揮毫により、誕生した応援団旗の言葉で、「海邦養秀」と共に先輩から後輩に受け継がれている首里高校の精神文化の一つです。
(一社)養秀同窓会・沖縄県立一中・首里高等学校

No.24
2023.4.7

SHINTENDOUCHI

★入学生号

未来を担う君たちへ
海邦養秀の精神を繋ぐ！

先 輩 から 後 輩 へ

おおまつ みう
大松 未羽
(首里高 78期)

写真：養秀同窓会館



文武両道

お お ま つ
大松

み う
未羽

首里高 78 期

先輩から後輩へ

部活動と学業を結びつけて

新入生の皆さま、首里高校への入学おめでとうございます。首里高校78期生の松大松未羽です。新型コロナウイルスの状況の中、受験という試練を乗り越え首里高校に入学されたことを心よりお祝い申し上げます。高校3年間は人生の中で一番思い出に残る時期です。これからの素晴らしい高校生活を新しい仲間、新しい環境で思いっきり楽しんでください。

私の高校3年間は新型コロナウイルスの影響で思っていた高校生活とはかけ離れていました。入学式は体育館ではなく教室のリモートで行い、学校行事は全てなくなっていました。学校に行けない日、部活動ができない日も多くありました。

そんな私は「文武両道」を目標に高校生活を送ってきました。「文武両道」といっても皆さんは学力を常に高いレベルで維持し部活動でも実績を残すことだと思っている人がほとんどだと思います。それが理想の「文武両道」です。しかし私はただ「文武両道」ではないと思います。実績が残せ

なくても、学業が高いレベルになくても部活動と学業どちらにも一生懸命取り組んでいることが「文武両道」だと思います。

実際私は女子バレー部に所属し県の強豪校として全国大会で勝ち上がることを目標にしながら、学業にもしっかりと取り組んできました。女子バレー部は全国大会でも勝てるチームを作っていることもあり、休みなく毎日厳しい練習をしてきました。2年生で初めて全国大会を経験し、全国で勝ち上がることの難しさを経験しました。その経験からもっと上手になりたいと思い練習により一層力を入れてきました。部員が多い時では40名を超えていてその中でレギュラーメンバーとして活躍するのは簡単なことじゃありません。私は一つ上の先輩がいた時から試合に出ていましたが怒られることも多く、部活で悩むことが多々ありました。

部活動だけでなく首里高校は進学校でもあり部活動だけに力を入れていると授業についていけなくなります。また週1の英単語や古文単語のテストがあり学業を疎かにはできません。その中で「文武両道」を実践しようと部活動では部の練習だけでなく自分に足りてないところの自主練を大切にしました。学業では朝の時間を有効に使うために朝早く学校に行って英単語や古文単語をすることを日課としました。学



3年生が2人しか残ることができず、
1・2年生に助けられながら優勝しました！



最後の春高県予選



最初で最後の行事 首里高祭



学校生活



【プロフィール】 ● 2004年生まれ ● 2017年3月上田小学校 卒業 ● 2020年3月 南星中学校 卒業 ● 2023年3月 首里高校 卒業 ● 2023年4月 早稲田大学スポーツ科学部入学

自分たちのクラスはフォトスポットをしました。

業は全体の真ん中くらいの成績で決して高いとは言えませんが、「文武両道」を行うことで部活動と学業の結びつきを学びました。勉強は考える力とさらに良くなりたいという向上心につながり、限られた時間の中に競技力の向上を図るにも必要だと感じました。部活動ではどうしたらいいプレーができるのか、どうすれば試合に勝てるのかなど結果までの過程を考え課題を解決することが、学業において問題を考えることに結びついていると感じました。

高校3年間「文武両道」を続けてきた私は部活動では全国大会に4回出場し、大学は早稲田大学スポーツ科学部に合格しました。これからの大学生活も高校で学んだことを生かし「文武両道」を目標に楽しい大学生活にしたいです。これを読んでくれた新入生の皆さまが部活動も学業も一生懸命取り組んでくれたら嬉しいです。

最後になりますが、私の高校生活はバタバタすることが多かったです。部活動と学業を両立させようと一生懸命になり計画を立てることができませんでした。それは私の失敗でもありませんでした。計画を立てながら学業と部活動に一生懸命取り組んで楽しい高校生活を送ってください。

養秀育英奨学金

貸与

創立130周年記念事業の一環として、首里高校生の大学進学を支援するため、平成22年に養秀育英奨学金制度（貸与型）を創設しました。（県外大学3名（月額5万円）、県内大学2名（月額3万円）を貸与卒業後、1年間の猶予期間を設け、その後8年間で返済。）

給付

創立140周年記念事業の一環で、新たに、難関大学及び医学・歯学・薬学に進学する生徒対象の入学支度金奨学金（給付型）制度を創設しました。（難関大学並びに医学部、歯学部への進学を支援。入学支度金20万円を給付。）

給付

このほかに、経済的理由による就学困難な在校生への在校生支援補助金や海外留学する生徒たちへの補助金も取り組んでいます。（経済的理由による就学困難な在校生に対し、各学年2名程度、月額3,000円を1年間給付。）

母校支援

- 進路指導補助費 180万円
- 部活動補助費 150万円
- 首里高校・那覇高校スポーツ交流費 20万円
- 学校環境整備費 30万円

養秀同窓会館のご紹介

みんなで行ってみよう！



一中健児之塔前広場



篠原坂(遊歩道)

一中健児之塔

首里高校の前身である県立沖縄一中の寮跡地に、百周年記念事業で養秀会館は建てられました。そこには一中健児之塔と戦没した教職員や生徒の名前を刻んだ刻銘碑があります。その後方の山斜面には、一中鉄血勤皇隊壕跡が修復され遊歩道(篠原坂)が設置されました。毎年、一中健児之塔では6月に慰霊祭が執り行われております。



2Fホール

ミニ会議室



一中学徒隊資料展示室

2階

首里高校に入学すると授業の一環として「平和学習」があり、必ず「一中学徒隊資料展示室」を見学します。そこには、「鉄血勤皇隊沖縄一中隊」の資料や遺影が展示されています。その他に、「事務局」、「2Fホール」、「ミニ会議室」があり、研修会など様々な用途で活用されています。



畳間



養秀文庫



調理室



1階

1階の主な施設としては、部活の合宿でも利用されている「畳間」、沖縄学の父・伊波普猷氏や同窓会員の著書・各期アルバムなど約4,000冊を所蔵する「養秀文庫」があります。また、正面玄関から入ってすぐのロビーは憩いの場として利用されています。その他、合宿などに使用する「調理室」「シャワー室」もあります。

染織デザイン科 78 期卒業制作壁画「精彩」



タイトルの「精彩」とは、生氣、迫力、美しい彩りを意味します。壁画は主題となる巨木ガジュマルが力強く地に根を張り、天高く枝を広げ続ける生命力を色彩豊かに表したものです。ガジュマルは、どんな過酷な状況においても育つ丈夫さを持っています。そのエネルギッシュな姿を画面全体に優雅で大胆に配置し表現しました。また、複雑に伸びゆく幹や枝に血管を重ね合わせてイメージし表しています。激しい情熱や感情の血潮を感じ取ってもらえると嬉しいのです。背景に広がる縁起の良い七宝つなぎ紋はガジュマルの葉を演出し、中央から緑、黄緑、黄、オレンジと色調豊かに繋がりと広がりを表現しています。七宝つなぎには「ご縁」「円満」「調和」などの意味があり、「良い縁に恵まれるように」と願いを込めています。ガジュマルの左右を飾る植物モモタマナは、方言でクワディーサーと呼ばれ親しまれている木で、色とりどりに配色した大きな葉、黄とオレンジでまとめた木の実、紫とピンクでまとめた花など、全体を鮮やかにバランスとって配色しました。最後に左右両側からピンク、オレンジ、黄へと変わりゆく背景色は、世界を包み込む暖かな陽光を表す配色です。

震天動地 入学生号 第24号2023年4月7日【発行人】一般社団法人養秀同窓会【会長】與儀 毅【発行責任者】広報部会

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-7養秀同窓会事務局 TEL&FAX：098-885-6437 E-mail：youshu@woody.ocn.ne.jp youshu.com f shurikoh

